

新港地区の事業概要

国際物流ターミナル整備事業

現在、下関港の港湾機能は関門海峡沿いに集約されており、市街地に接した狭隘な空間での非効率な荷役を強いられています。また、前面の関門海峡は急峻な潮流と湾曲した地形条件により、入出港や接岸時に制約があり、物流機能の安全性と安定性を確保する上で課題となっています。

このため、関門海峡内に比べて制約が少なくかつ安全で将来への発展の可能性が高い新港地区（長州出島）に国際物流ターミナルを整備しています。現在、護岸（防波）、泊地（-12m）の整備を実施しています。

国際クルーズ拠点整備事業

国際クルーズ拠点の形成に伴う東アジアを周遊するクルーズ船寄港の増加に対応するため、クルーズ専用岸壁（-12m）の整備を2019年度（平成31年度）より着手し、2022年度（令和4年度）整備完了予定です。

国際物流ターミナル整備事業



国際クルーズ拠点整備事業

